

沼田川

第77号 NUTAGAWA
2016年2月



第6回 税に関する絵はがきコンクール 優秀作品 金賞
田野浦小学校 堀本匡貴
(P2で紹介)



公益社団法人 三原法人会

第6回 税に関する絵はがきコンクール



女性部会では、小学生への租税教育活動を社会貢献活動の一環として、今年度も、「税に関する絵はがきコンクール」を実施しました。租税教室などを通じて、学童に「税の大切さ」や「税の果たす役割」について学んでもらい、その知識や感想を「絵はがき」にすることで、税に対する理解をより深めてもらうことが目的です。

6回目となる今年は、19の小学校から590点の応募をいただきました。その中から、優秀作品11点を厳選し、11月15日にイオン三原店において三原税務協力団体連絡協議会（当会を含む6団体で構成）の各団体が募集した租税作品とともに表彰式を開催するとともに、応募全作品を「税を考える週間」を含む11月11日～25日まで同会場にて展示いたしました。なお、入賞作品は表紙及び裏表紙へ掲載しておりますのでご覧ください。

税金クイズ

11月15日（日）、イオン三原店において三原税務協力団体連絡協議会主催により、税を考える週間行事として「税金クイズ」を開催しました。

税金クイズは、小学生用・中学生用・高校生及び大人用の3種類のクイズを作成し、買い物客などの約400名にチャレンジしていただき、その場で解答と解説をしました。参加者からは「勉強になりました」「税金への理解が深まりました」等のお声をいただきました。

なお、当日は三原税務署からも応援をいただき、イータ君と一緒に絵はがきコンクールの作品入りポケットティッシュを配布するなど賑わった一日となりました。



また、入賞作品は広島県法人会連合会へ出品し、下記のとおり入賞・入選されました。おめでとうございます!!

広島県法人会連合会 入賞者 (敬称略)		
銅賞	本郷小学校	磯根知可
入選	本郷小学校	酒巻まい
	三原小学校	木原大翔
	糸崎小学校	秋田来望



第6回 献血運動

9月10日、三原税務署において献血活動をしました。会員企業の従業員を含む市民の皆様より35名の受付があり、24名の方から献血のご協力をいただきました。献血不可の理由の中には、朝食を摂っていないので無理だったというケースもありました。

ご協力くださいました皆様、ありがとうございました。



租税教室

日本の未来を担う子供たちに、税の仕組み・税の大切さを経営者の立場から教え、税の使われ方にも興味を持って国や地域社会を愛する気持ちを醸成させる「小学6年生を対象とした租税教室」も今年度で11年目となりました。

今年度の租税教室は1学期に6校6回、3学期に10校12回の合計16校18回で児童数は合計677名でした。実施状況は下記の通りです。

実施日	学校名	講師
5月 1日	南小学校	青年部会檜山研修副委員長
6月 11日	幸崎小学校	青年部会渡辺部会長
6月 24日	久井小学校	青年部会作田総務広報委員長
7月 3日	北方小学校	青年部会兼綱副部会長
7月 14日	糸崎小学校	青年部会鈴木監事
7月 16日	本郷小学校	青年部会鈴木監事
1月 15日	木原小学校	青年部会盛影研修委員長
1月 20日	三原小学校	山本総務委員長



実施日	学校名	講師
1月 25日	沼田西小学校	青年部会兼綱副部会長
1月 25日	田野浦小学校	青年部会亀田副部会長
1月 28日	沼田東小学校	青年部会原副部会長
1月 29日	沼北小学校	青年部会金光監事
2月 2日	南方小学校	青年部会渡辺部会長
2月 3日	西小学校	青年部会荻路組織副委員長
2月 5日	船木小学校	青年部会坂元組織委員長
2月 5日	大和小学校	伊藤副会長

第32回 法人会全国大会「徳島大会」に参加して

10月8日、おどる国、徳島の徳島県立産業観光交流センターで開催された全国大会へ荻路副会長と二人で、出席させて戴きました。

12時受付開始。14時～15時15分までパネルディスカッション テーマは「日本の山里にこんな仕事、移住企業もありますよ。」パネリストの㈱いいろどり代表取締役 横石知二氏は、徳島県の中央に位置する人口1,700人、その大半が65歳以上の高齢者という上勝町で日本料理に彩りを添える葉っぱ和栽培・出荷販売する“葉っぱビジネス”を展開しておられます。後期高齢者と呼ばれる人達が最先端のパソコンやタブレットを操作して年収1,000万円を超える収入を得ています。㈱いいろどりは年商2億円です。

もう一人のパネリスト、特定非営利活動法人グリーンバレー理事長の大南伸也氏は米国スタンフォード大学院を修了されて過疎地域が生き残る為の解決策を見出そうとアートや環境を柱

に地域と世界をつなぎ、グローバルな視点で地域活性化を展開。ワークインレジデンスによる若者や企業者の移住、ITベンチャー企業のサテライトオフィス誘致による雇用の創出に取り組んでいらっしゃいます。このため、遠くの都市に出なくとも、この町で働く工場や会社があるから町に若者が増えて活気が出たとか…。

高齢になっても自分の「出番」と「役割」がある事に日々小さな幸せを感じる事ができる町、上勝町。この二つの事例を見るに付け、私達も我が町を元気にするため、真剣に立ち上がるなければと、痛感致しました。



(副会長 片山敏子)

広島国税局長講演会



10月26日、福山ニューキャッスルホテルにおいて、県東部四単位会(福山・府中・尾道・三原)共催による広島国税局長講演会を開催しました。

平成27年7月に着任された志村 仁 広島国税局长が「我が国を取り巻く経済・財政事情と最近の税務行政」と題して講演され、約120名が聴講しました。

マイナンバー セミナー

マイナンバー制度導入後の会社実務対応講座

11月20日、三原商工会議所において、社会保険労務士・初級産業カウンセラーである野澤直子先生を講師にお迎えし、「マイナンバー制度導入後の会社実務対応講座」を開催しました。

案内直後から申込みがあるなど関心が高く、一般の方を含め約80名の参加があり、企業の実務的な対応として、従業員やその家族からの個人番号の取得や保管についての留意事項、税や社会保障関係の手続への対応など、企業が備えておくべき社内の規約から担当者が押さえてお

かなければならない具体的な事項などについて分かりやすく説明され、多くの参加者から「具体的な内容で、不安が少し解消され今後の参考となった」という声をいただきました。



経営安定セミナー 事業の上手な承継の仕方

11月26日、三原商工会議所において経営講演会を開催いたしました。

講師に、公認会計士である海生裕明事務所 代表の海生裕明氏をお招きし「事業の上手な承継の仕方」と題して、「事業承継とは何か」や、事業承継の必要性や税務対策について、分かりやすくご講演いただきました。



これからも企業の繁栄を
サポートしつづける
経営者大型総合保障制度です。



大同生命

広島支社 尾道営業所/広島県尾道市東御所町9-1
(尾道オーターフロントビル2F)
TEL 0848-22-2728



AIU 保険会社

中国四国地域事業本部 広島支店/広島県広島市中区基町11-10
(合人社広島紙屋町ビル2F)
TEL 082-222-4351

◎ご検討・ご契約にあたっては、設計書(契約概要)・注意喚起情報・ご契約のしおり 約款を必ずごらんください。

郷土史講座 64

見直そう 民俗文化財

年中行事 ～冬の行事とは～

広島民俗学会 理事 櫻 博自

①亥の子…旧10月初亥の日(現在は11月初めの日曜日)、この日は、田の神さんが田から家へ帰る日といわれ、子孫繁栄と無病息災を願った祭りをする。当屋は子どもたちが相談して決め、当屋の床には半紙を敷いて亥の子石が飾られる。夕方になると子どもたちが集まってきて、親になってもらった縄を亥の子石のカン(鏡)に取り付ける。カンは10個くらいしかないと、取り付けることのできなかった子どもは、離子にまる。

当屋を出発してから、全戸一戸ずつ撫いて回る。最初の家を訪れ、「亥の子を祝うてください」と頼み、承知してもらってから土を撫ぐ。縄を引っ張り、石を上下させて撫ぐ。土に大きな穴ができると、誰も踏まないうちに土を埋めて戻した。糞干しの支障になるからという。この穴を田の神さんの足跡といって、大切に保存する地方もあった。当時は各戸10~20銭ほど祝儀をくれた(現在は千円程度)。もらった金は学用品などを購入して分配した。思うほど祝ってくれなかつた家には憎まれ口をたたいた。

高等科の生徒が小学生を連れてうまく進行した。子どもたちは身軽な服装で参加したが、夜が遅くなるのでハンコ(チャンチャンコ)など持参し、寒さに備えた。なお、仮装した子どももいなかった。

当屋では、高等科の女子が主婦の手伝いをして、バラ寿司や煮物をつくって、ごちそうした。その後、学用品などの分配を受け、カルタやトランプなどに興じた。

亥の子の日は、こたつを出す日とされている。この日に出すと火事にならないと信じられた。男子だけの行事だったが、戦後には女子も参加するようになっている。神社の閑与は全くなかった。比較的体系を残していると考えられるのは、本郷・江良の亥の子歌である。同町内会刊の「しおり観音」から引用すると、

一、そもそも亥の子と言うものは、一つ応神天皇様のお祭りで 天子さまに上げるのは菊の餅 菊の花
二、鶯や鶯や 初めて都へ上るとき 都は広し宿はなし

三葉の松の三の枝 鶯が巣を組んで 十二の卵を生み揃え 生んで揃えて立つ時にや 金の杯くわえ出しなまりの ちょうじで ゆになったゆになった

三、一から十まで申しょうか

一で ごんぼう 二で にんじん 三で ささげの色黒し 四で 椎茸味もよし 五で(不明) 六つ結んだかんぴょうと 七つ なったる秋なすび 八つ焼いたる焼き豆腐 九つ こうたけにおいよし
十で 豆腐屋のおから飯きらう

四、大黒さんと言う人は 一で 俵をふんばって 二で にっこりわろうて 三で 酒を作らせて 四で世の中良いように 五つ いつもの如くなり 六つ

無病息災に 七つ 何事ないように 八つ 屋敷を広めたり 九つ ここへ倉を建て 十で 徳利納

めたり納めたり

以上のとおりだが、「大黒さん」の個所が「亥の子さん」あるいは「恵比須さん」となっているなど、伝承の過程で大きな地域差を生じている。

②霹靂神社の祭り…11月23日、この神社の旧号は船材敏神社で、『日本書紀』推古天皇26年に、天皇が河辺臣を安芸に遣わして船をつくることを命じ、臣は地元の里人の反対にもかかわらず雷神の木を伐ったので雷神は怒ったが天皇の力が勝り、小魚となって樹枝に挟まった。との話が収められている。そしてその後、雷神を祀ったとされている。

なお、『日本書紀』は、天皇の政治基盤を強める目的で編集されたことに留意しておく必要がある。

③鎌じまい鎌祝い…各家で行う。おはぎをつくって仏壇に供える。南方では、タキコミを炊いたりした。12月末になっても作業が終わらないこともあった。昭和30年代から機械が導入され、行事はしだいに失われた。

④誓文払い…12月上旬。本郷の町では、どの店も歳暮の品や正月用品、衣類などを飾り、売り出した。船木・北方・南方からも多くの方がやって来た。米代金が入る時期で、肥料代や店のツケ(借金)を支払い、メリヤスのシャツ、赤い塗り下駄、着物や日用品をたくさん購入し、前後振り分けに担いで帰る人もいた。

ツケで品物を買入れるのは農村地帯では共通していた…
⑤冬至…カボチャを食べた。

⑥割木売り…盆や正月前は現金収入が必要なときであり、山の多い人は、割木をつくって忠海へ売りに行った。割木は、1.5~2尺に長さをそろえて束ねたものであった。船木・平板の人は夜中の12時ごろ、南方でも午前3時ごろ家を出発し、車を引いた。一人引きの荷車で40~50貫、二人引きで60貫ほど積んだというが、1貫で2銭くらいになったという。割木と同様、柴木も売られた。木造船の底をタデル(焼く)ときの燃料となつた。

忠海の市では、雑魚や雑貨などを買った。冬季の場合、行きは凍みていたが、帰路はそれが解けて足袋や草履がぬれ、大変冷たかったという。

三原へは、大正初めまでは川船を使って運んだが、それほどの量にはならなかった。

⑦干柿づくり…どこの家でもたくさんの干柿を吊るした。茶葉子代わりに出したり、保存がきくので料理にも使われた。

⑧淨土真宗の報恩講…12月、宗祖親鸞に報恩するための行事で、門徒の間で広く行われる。寺では親鸞絵伝をかけたりして偉徳を説き、昼にはオトキを出す。報恩講案内の機会に秋初穂を集めるとある。講中の報恩講は早く失われた。秋から1月の御正月までの間に僧は門徒の家に出かけ、門徒報恩講を営む。

⑨藁仕事…夜なべ仕事の第一は藁仕事であった。米俵のほか製塩地(忠海・竹原・三原)が近いので塩俵もよく編んだ。米俵と塩俵は、藁をソグッテ(袴を取り除いて)編んだが、石灰俵はソグラズに編んだ。塩俵は5斗入りで、5枚ひとくりにして、男は棒で担ぎ、女は背負って竹原の専売局へ売りに行った。帰りには雑魚や用品を買った。

本郷町史民俗編の編集のため、本郷町民の皆様からご教示いただきました。誠に有難うございました。

第5回 みのりカップ

10月20日、三原リージョンプラザのBistro soboにて、第5回みのりカップが開催され、当会青年部会から5名が参加しました。

団体対抗で行ったアトラクションの三原検定クイズでは大いに盛り上がり、懇親を深めることができました。

また、次回の担当も満場一致で三原青年会議所に決定いたしました。

ご設営いただいた三原商工会議所青年部の皆様、誠にありがとうございました。

(青年部会長 渡辺 敏)

第29回 法人会全国青年の集い「茨城大会」へ参加して



11月19日(木)・20日(金)に開催されました第29回法人会全国青年の集い「茨城大会」に、原副部会長と二人で行ってまいりました。

20日(金)9時30分より、水戸プラザホテルにて開催された部会長サミットでは「青年部会活動充実のための部会員増強」～さらなる活動に必要な多くの仲間、部会員の拡大と定着～をテーマにテーブルごとに8人くらいの人数で議論しました。忌憚のない意見や言葉を交わす中で、新たな気付きや学びを得ることができました。



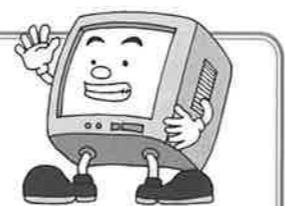
視察研修

この度、オタフクソース(株)様と中国醸造(株)様の二社へ訪問させて頂きました。

オタフクソース(株)では、施設見学の他「お好み焼き課」の担当から細かな指導を受け、自分で焼き、食べるといった貴重な体験もしました。この体験が出来るWood Eggには、研修センターなども併設しており、技術や店舗提案等の支援をする体制が整っており、

法人会広報活動

三原法人会は、三原テレビ放送にてテレビCMを放映(11月10日から12月31日まで)、また、JR三原駅構内にて法人会ポスターを貼り、法人会の税知識の普及・納税意識の向上促進の活動を広く知ってもらい、法人会の存在感および意義を訴求するPR活動をしました。



三原税務署長「講演会」

10月9日、三原国際ホテルに於いて、今年も青年部会と女性部会の共催にて、三原税務署より遊川真澄税務署長をお招きし「知って得する 相続税と贈与税」と題して、署長講演会を開催致しました。

遊川所長は三原税務署初の女性署長であり、まず三原を知ることからという思いで、やっさ祭りなどへも参加される等、活発にご活躍されておられます。

講演の方も相続税に関する内容や、宅地や建物を相続した場合の評価方法など、署長の視点、また女性としての視点で講演してくださり、税というと難しく複雑ではありますが、非常に和やかな雰囲気での講演会がありました。

(青年部会 総務広報委員長 作田 佳史)



女性部会だより Report

『折り紙』研修会を開催

8月21日(金)、(有)木川紙店の木川様と娘さんの井上様を講師にお招きし、「十五夜」をテーマに『折り紙』研修会を開催しました。

折り紙は、簡単そうで難しく、考えながら作業するので、頭の体操にもなると好評を得ており、参加者は、日頃あまり使わない指先をしっかりと使って、美しい「十五夜」を作りました。



視察研修 松江城を訪れて



10月27日、女性部会14名で国宝松江城に視察研修に参りました。「山陰行く時は、弁当忘れて傘忘れるな」の諺があるよと教わりながら、雲行きの怪しい山陰へとバスで向かいました。

昼食は、なにわ本店で宍道湖が見えるお部屋でおいしく頂きました。

堀川めぐりは笑いに包まれながら、とても楽しく、心豊かな時を過ごせました。

堀は殆ど昔のままを保ち、一部は石垣を築かず、古木が生え茂る森を感じさせます。川面を吹く風も快く、青鷺、軽鴨、金黒羽白、川鶴がひょっこり姿を現します。堀には個性ある橋が架かっていて、橋桁が低く、船の屋根を下げる通ります。もちろん乗船者も頭を低くします。スリル満点です。

松江城の天守は、全国に現存する12天守で平面規模は2番目、高さは3番目、古さでは5番目。その様は黒々として、とても雄壮です。

松江=松江不味公=茶道=お菓子と思っておりましたが、堀尾吉晴(豊臣秀吉、徳川家康に仕えた)によってこの立派なお城は築かれたのです。

地下に大きな井戸、籠城用生活物資倉庫等、戦国の世の厳しさが伺えました。

長大な柱を用いず、2階までの通し柱を使用し、柱は2面あるいは4面と板を張り、割れ隠し、不良材の体制を整えたらしく。階段も4階までは軽く、強く、火に強い桐を使っているため虫食いが無いとのことです。

ガイドさんがとても詳しく説明してください、本当に勉強になりました。

(女性部会 事業委員長 中野 千津子)

支部だより

久井支部研修会を終えて

11月20日(金)、久井町の「三よ志」において、三原税務署の遊川署長、塩見総務課長、向井法人統括官と大田・倉本両事務局長をお迎えし、支部会員10名が出席して『マイナンバー制度について』と題し、遊川税務署長のご講演を戴きました。

源泉徴収や厚生年金等の社会保障の手続きにマイナンバーが必要となることから、社員や社員の家族のマイナンバーの確認や保管の方法について、厳重にしなければいけないこと、更には官公庁から電話でマイナンバーを問い合わせることはないので、「振り込め詐欺」にからぬこと等を学びました。

今後もマイナンバー制度の取扱い等に変更があった場合には、お知らせいただけたということでした。

講演後は、会員相互の近況報告、株式情報、国会や政治論、趣味、健康論、孫の話等で盛り上がり、明日への英気を充分養える、大変楽しい研修会と懇親会になりました。

(久井支部長 片山 敏子)

本郷支部研修会・会員交流会を開催

(公社)三原法人会 本郷支部 研修会



1月26日(火)、三原臨空商工会研修室で、三原税務署の遊川署長、塩見総務課長、向井法人統括官と大田・倉本両事務局長をお迎えし、支部会員10名が出席して『マイナンバー制度について』と題し、遊川税務署長のご講演を戴きました。

研修会に引き続き会員交流会として「ジャズライブ」を催しました。本郷支部では会員増強について、役員等の努力により目標を大きく上回る6社の入会が有り、今迄にない結果の祝賀記念行事として開催しました。

研修会参加者の他、一般の方にも開放し、県内を中心に活動されているミュージシャンによる歌と演奏に入り楽しむひと時を過ごして頂きました。大和、久井の両支部からも研修会、会員交流会に参加いただきありがとうございました。

(本郷支部長 鈴木 孝昭)

平成27年度 納税表彰 ~おめでとうございます~



税務署長表彰

納税表彰式・感謝状贈呈式

(敬称略)

税務署長感謝状

(敬称略)



藤井 啓文
常任理事
藤井建設㈱
代表取締役



森崎 正治
理事
広島製油工業㈱
代表取締役



渡辺 康博
理事
渡辺土地建物(有)
取締役



渡部 由美
女性部会 副部会長
渡部瓦三原販売所
取締役

11月16日に平成27年度納税表彰式が行われました。多年にわたり、申告納税制度の普及ならびに納税道義の高揚にご尽力されました皆様、おめでとうございます。

優良申告法人へ表敬状授与

11月11日に本会の会長を長く務められ現在、三原商工会議所の会頭である、勝村善博氏が代表を務める㈱三原テレビに対し、遊川真澄 三原税務署長より優良申告法人に贈られる表敬状が授与されました。

この表敬状は、申告納税制度の趣旨に即した適正な申告と納税を継続し、他の納税者の規範としてふさわしいと認められる優良申告法人へ贈られるもので、三原税務署管内では10数年ぶりの栄誉となります。

誠におめでとうございます。



遊川税務署長(前列右)より授与

平成28年度税制改正に関するスローガン

●厳しい財政状況を踏まえ、
国・地方とも行財政改革の徹底を！

●中小企業の力強い成長なくして、
真の経済再生なし！

●法人の実効税率を早期に20%台に引き下げ、
軽減税率15%本則化の実現を！

●中小企業の円滑な事業承継のために、
欧州並みの本格的な税制の創設を！



溝手参議院議員(秘書 勝村氏) (左)



天満三原市長 (右)



梅本三原市議會議長 (右側・左)
陶三原市議會議長 (右・右)

当会では、公平で健全な税制の実現を目指し、会員企業名の意見や要望を反映させるべく、あるべき姿や将来像を見据た建設的な提言を行っています。

11月24日、三好康荘会長が溝手参議院議員秘書の勝村氏、天満三原市長、梅本三原市議會議長並びに陶副議長に平成28年度税制要望提言書を手渡しました。

新年の ごあいさつ

三原税務署長

ゆかわ ますみ
遊川 真澄

新年あけましておめでとうございます。

平成28年の新春を迎え、公益社団法人三原法人会の皆様方に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素から税務行政の円滑な運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜っております。厚くお礼申し上げます。

貴会におかれましては、「企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体である」という理念の下に、税のオピニオンリーダーとして活動されています。

その活動として、税に関する研修会の開催や租税教室への講師派遣はもとより、「沼田川クリーンキャンペーン」、「いちごプロジェクト」、「献血運動」及び「JR三原文庫」等の幅広い社会貢献活動を展開されています。更には、小学生を対象とした「税に関する絵ハガキコンクール」の作品展並びに表彰式を「税を考える週間」の行事の一つとして盛大に開催され、税知識の普及に大きな役割を果たしていました。

これらの成果は、三好会長をはじめとする

役員並びに会員の皆様方が、連綿と法人会活動に積極的に取り組んでこられた賜物であると、心より敬意と感謝の意を表する次第でございます。

また、法人会では、企業における内部統制面や経理面に関する「自主点検チェックシート・ガイドブック」を作成され、自主点検を推奨されています。この取組は、企業の内部統制や会計経理の質的向上を通じて、税務コンプライアンスを向上させるものと承知しております。昨年4月には国税庁後援事業となりました。今後の更なる利用拡大をお願い申し上げます。

さて、税務行政の現状をみると、消費税率の改正、相続税の課税ベースの拡大、更には本年1月からの「社会保障・税番号制度」いわゆるマイナンバー制度の導入などがあり、私どもは、これらの制度の円滑な定着に努めますとともに、「適正かつ公平な課税と徴収の実現」に向けてこれまで以上に努力し、税務行政に寄せられている国民の信頼に応えていく所存でございます。

私どもといたしましては、今後とも、皆様方とのコミュニケーションを大切にし、ニーズに合わせた研修会への講師派遣などの支援を通じて、協調関係を深めてまいりたいと存じますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりになりましたが、公益社団法人三原法人会の益々のご発展と会員皆様方の事業のご繁栄並びにご健勝を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

「e-Tax」なら国税に関する申告や納税、申請・届出などの手続がインターネットで行えます。

申税電子申告・結替システム

e-Tax

電子申告で
効率UP!

納税にはダイレクト納付が便利です！

e-Taxを利用して電子申告等をした後に、届出をした預貯金口座から、簡単な操作で即時又は期日を指定して納付することができます。

※事前にダイレクト納付利用届出書の提出が必要です。
※届出書の提出から利用可能となるまで、1ヶ月程度かかります。

e-Taxを利用して
所得税及び
復興特別所得税の
申告をすると
こんなメリットが！

添付書類の
提出省略
還付が
スピーディー



法人会

法人会は会社経営の効率化のために
e-Taxの普及を支援しています。

ご利用に際し条件、注意事項があります。
詳しくはホームページをご確認ください。

イータックス 検索

チャレンジ！四字熟語！

①『侃々諤々』 ②『土魂商才』 ③『ハ紘一宇』

(答えは11頁)

税務署コーナー

三原税務署からのお知らせ

平成27年分所得税及び復興特別所得税の確定申告期間は、

平成28年2月16日(火)から平成28年3月15日(火)までです。

※税務署の閉庁日(土曜日・日曜日・祝日等)は、相談及び申告書の受付を行っていませんので、ご注意ください。

ただし、申告書は、郵送等または税務署の時間外受付箱への投函により提出することができます。

※還付申告の場合は、1月1日(金)から確定申告書を提出することができます。

※「国税電子申告・納税システム(e-Tax)」は、1月12日(火)8時30分～3月15日(火)までの間は、24時間ご利用いただけます(月曜日0時～8時30分の間を除く)。

★申告会場の開設日程について

地区	開設日	相談時間	会場名
三原市	2月16日～3月15日	9:00～17:00 (受付時間・9:00～16:00)	三原税務署

※確定申告期間中の申告会場は、混雑が予想されます。国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」や確定申告の手引等を参考に、自分で申告書を作成され、国税電子申告・納税システム(e-Tax)や郵便等により提出されることをお勧めします。

国税の納付は、簡単・便利なダイレクト納付をご利用ください。

東部県税事務所からのお知らせ

県税の電子申告等について

広島県では、地方税ポータルシステム(eLTAX:エルタックス)を利用して、インターネットによる法人県民税・法人事業税・地方法人特別税の電子申告、電子申請・届出の受付を行っています。

●利用できる電子申告

・予定申告、中間申告、確定申告、修正申告、清算確定申告など

●利用できる電子申請・届出

・法人設立・設置届出書・届出事項の異動届・届出事項の異動届(連結納税承認等)・更正の請求書
・申告書の提出期限の延長の承認申請書・法人税に係る確定申告書又は連結確定申告書の提出期限の延長の処分等の届出書
詳しくはeLTAXホームページをご覧ください。→ <http://www.eltax.jp/>



三原市役所からのお知らせ

個人住民税は特別徴収で納めましょう！

平成24年度から、県と全市町が連携して、特別徴収を実施していない事業主に対し、特別徴収の適正化に向けた取組を一斉に行ってています。ご協力をお願いします。

■個人住民税の特別徴収とは？個人住民税の特別徴収とは、事業主(給与支払者)が、所得税の源泉徴収と同じように、従業員(納税義務者)に代わって、毎月従業員に支払う給与から個人住民税(市・町民税と県民税)を差し引いて、市町へ納入していく制度です。

事業主は、特別徴収義務者として、法人・個人を問わず、原則すべての従業員について、個人住民税を特別徴収していただく必要があります。

問合せ先／三原市財務部市民税課 (電話 0848-67-6031)

消費税期限内納付推進運動実施中！

消費税の期限内納付を忘れずに。

法人会

<input checked="" type="checkbox"/> 消費税は消費者からの預かり金的な性格を有する税です。		
<input checked="" type="checkbox"/> 基準期間の課税売上高が1,000万円を超える事業者は、消費税の確定申告が必要です ^(注1) 。		
消費税には申告・納付期限 ^(注2) があります。	申告・納付にはe-Taxが利用できます。	個人事業者の方は振替納税も利用できます。
<input checked="" type="checkbox"/> 期限を過ぎると延滞税がかかります。	① 基準期間の課税売上高が1,000万円以下であっても、特定期間の課税売上高が1,000万円を超える事業者は、消費税の確定申告が必要です ^(注3) 。 ② 法人は課税期開始日の翌日から2ヶ月以内、個人事業者は翌年の3月31日までに消費税の申告と納付を行う必要があります。 ③ 地方消費税を含まない年税額をいいます。	
<input checked="" type="checkbox"/> 確定申告・納付のほか、直前の課税期間の確定消費税額 ^(注3) に応じて中間申告・納付が必要となります。	④ 前の課税期間の確定消費税額(地方消費税を含まない年税額)が48万円以下の事業者が、「任意の中間申告書を提出する旨の届出書」を提出した場合には、自主的に中間申告・納付することができます。	
直前の課税期間の確定消費税額 ^(注3)	申告・納付回数	
4,800万円超	年12回(確定申告1回、中間申告11回)	
400万円超4,800万円以下	年4回(確定申告1回、中間申告3回)	
48万円超400万円以下	年2回(確定申告1回、中間申告1回)	
48万円以下	年1回(確定申告1回、中間申告不要) ^(注4)	

法人会の理念

法人会は税のオピニオンリーダーとして
企業の発展を支援し
地域の振興に寄与し
国と社会の繁栄に貢献する
経営者の団体である

新たな「理念」が定められました。

法人会が、税を中心として更に社会全体へ貢献していくことを明らかにするため、また、志の高い経営者であるとの矜持を持って今後も活動していくことを表すため、法人会の新たな「理念」が定められました。

事務局だより “ご入会”ありがとうございました

平成27年8月1日～平成28年1月31日まで
(敬称略・支部別入会日順)

支部	法人名	業種	住所
三原西部	(株)上西設備	配管工事	皆実4丁目
	(株)ダイナ建設	建設	本郷町船木
本郷	(株)読売センター 本郷	新聞小売	本郷南4丁目
	(株)フレッシュ物流	運送	南方1丁目
久井	(株)三原環境開発	産廃	久井町江木

社会貢献事業『JR三原文庫』

昨年12月に、社会貢献事業ならびに広報活動の一環として開設いたしました『JR三原文庫』がより目立つよう台輪を取り付けました。(10/20)

『JR三原文庫』は、JR利川の皆さんへ自由に読書を楽しんでもらうことを目的としています。これらの本は誰でも貸りて読むことができ、本を読まれた後は『JR三原文庫』に返してもらうことになっています。

寄贈する本は、三原法人会の会員企業やそのご家族の方々が読み終えられた文庫本や小説、政治、経済、経営、健康、趣味に関するものなど幅広く、隨時、JR三原駅へ補充していきます。JR三原駅新幹線をご利用の際には、是非『JR三原文庫』をご活用ください。



第19回 沼田川クリーンキャンペーン

~4月24日(日)に実施します!~

地域社会貢献活動「沼田川クリーンキャンペーン」は、一昨年より6月から4月へ実施月が変更となりました。

美化意識向上にともないゴミの量は、以前に比べ随分少くなっています。まだこんなゴミをこんな所へ？と目を疑うような廃棄物も見受けられるのが現状です。清らかな川をいつまでもきれいな姿に保つため、年に一度の清掃活動は「沼田川のクリーンアップ」

と「川を汚さない」ことを訴える大変有意義な運動であると考えます。「一日を清掃活動に奉仕しよう」という意思ある皆様とともに、この運動を展開していきたいと思います。参加協力等清掃活動へのお問い合わせは、下記までお願い致します。

お問合せ先：(公社)三原法人会事務局
担当：大田 TEL(0848)62-0524

法人会会員企業にお勤めの皆様は、お一人からでも集団取扱の割安な保険料でご加入いただけます。

No.1 アフラックはがん保険・医療保険契約件数No.1

心配をきた病気やケガの備えに

ちゃんと応える医療保険 EVER

心配な「がん」の備えに

新生きるためのがん保険 Days

法人会会員企業にお勤めの皆様は、お一人からでも集団取扱の割安な保険料でご加入いただけます。

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) 広島総合支社
〒730-0017 広島県広島市中区鉄砲町7-18 東芝フコクビル5F 法人会フリーダイヤル 0120-876-505 AF法准-2015-0025-1512039 6月10日

商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。

※今後の対応は担当の募集代理店が行ないます。

チャレンジ!
四字熟語!

答
え

- ① 正しいと信じることを、遠慮すること無く盛んに議論すること
- ② 武士の気高い精神と、商人の抜け目のない才能を兼ね備えていること
- ③ 全世界を一つの家のように考え、統一・支配すること

第6回 税に関する 絵はがきコンクール

優秀作品

銀賞



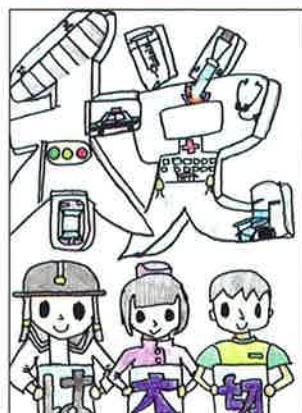
本郷小学校 磯根 知可



本郷小学校 酒巻まい

銅賞

西小学校 中田遙



三原小学校 河井陽菜



田野舗小学校 青山里穂

三原市長賞

田野舗小学校 惣田心海



三原市教育委員会教育長賞



三原小学校 木原大翔

三原税務署長賞



中之町小学校 高橋みなみ

三原法人会会長賞



沼田東小学校 講崎勇武

三原法人会女性部会長賞



糸崎小学校 秋田来望